

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

# 学校だより

令和元年9月17日(火)発行 第 19 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 充実した修学旅行になりました ～楽しくenjoy 思い出memory～



台風が心配された令和最初の修学旅行…。雨の日もありましたが、昨年度とは異なったコースで、充実した修学旅行にすることができました。

11日は奈良。飛行機の40分に及ぶ遅れに見舞われて、法隆寺は通過するだけになってしまいましたが、東大寺奈良の大仏をじっくり見学できました。柳津町の中学校では初めての訪問です。教科書でしか見たことのない国宝の数々を見学できました。その後京都に移動。八坂神社を起点に最初の班別自主研修した後、弥栄会館祇園コーナーで日本の伝統芸能を満喫しました。

2日目は、京都市内の班別自主研修で、各所をグループで見学した後、いよいよ大阪ユニバーサルスタジオジャパンへ！20:00まで5時間以上を過ごすことができました。

最終日の13日は、大坂城見学の後、一部上場企業のさくらインターネットを企業訪問。見学と共に、柳津町のP



R活動をさせていただきました。

PR活動は、数年前の子ども議会で提案されたもので、一昨年大阪・京橋商店街で実施した経緯があります。今年は、社員さんを前に、堂々と町をアピールしてきました。

PR活動は、伊丹空港でも行いました。2泊3日の行程でしたが、企業見学あり、PR活動あり、世界に誇る歴史的建造物の見学ありの充実した修学旅行になりました。この旅が友達のよさを再発見する旅、楽しかった、行ってよかった、有意義だったと思える修学旅行となったことをご報告します。

## 職場体験を実施しました

9月12、13日の2日間にわたり、2年生が職場体験に出かけました。職場体験は、近年、どの学校でも行われるようになり、貴重な学習体験として重視されています。

この取り組みは、子ども達が職場に出向き、働いている様子を見ることだけが学習ではありません。子どもにとって、「働く」ということは、分かっているようでよく分からないことなのです。昔であれば、近くの田んぼや畑で働く人を見ることができました。



「体験」どころか、ひとりの労働力として期待もされていました。今は、職場と学校が離れてしまい、働く人々を見る機会がめっきり減りました。そのため、就職しても「働く」というイメージが持てず、安易に離職してしまったり、ニートになってしまったりする弊害が指摘されるようになりました。職場体験は、中学生の段階からしっかりと「職業観」を持ってもらおうと行っているものです。

今年の職場体験は、「町の未来をどうするか」の問題意識から、地元活性化のために頑張っている町内の企業での実習になりました。ここでの実習がきっかけとなって、1学期にご後援いただいた「おくや」の松崎さんのように、地域で起業し、地域を盛り上げる存在になってくれることを期待します。

## 校外学習を振り返って

9月12日(木)、1年生は、1学期に実施した郷土学習の成果を踏まえた会津若松市内への「遠足」を行いました。

ねらいは、会津若松市の「観光」「産業」「文化」「食」「自然・歴史」を調査し、柳津町との違いを比較しながら、郷土のよさを再発見・再確認することです。

休日等に「遊び」等では出かけることが多い会津若松ですが、調査を目的として出かけたことから、さまざまな発見があったようです。

①協力することの大切さ、②集団の一員としての自覚、③歴史や芸術・文化への理解、もしっかり深まり、小学校の時よりも自分の行動に責任感を持って行動しよう、という意識が感じられました。

